

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1581 号	氏名	中村 琢也
学位審査委員	主 査	筑波 隆幸	
	副 査	吉村 篤利	
	副 査	内藤 真理子	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、矯正力負荷後における歯根吸収と歯根膜の圧縮に関する相関及び歯の移動（歯体移動、傾斜移動）が歯根膜腔の程度、歯根吸収の誘発並びにそれらの相関を明らかにすることを目的としたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>同一個体のラットの上顎骨に矯正装置を装着し、左側は歯体移動、右側は傾斜移動になるように設計した。0～14 日間歯根膜圧縮を経時的にマイクロCT画像にて歯根膜腔の厚さを計測した。更に組織学的解析により、歯根吸収量および歯根吸収の深さを測定し、統計学的方法で解析した。以上の様に研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、矯正力負荷早期の歯根膜の圧縮とその後の歯根吸収に強い正の相関があることを見出した。この知見から、矯正力負荷早期の歯根膜腔圧縮が歯根吸収誘発に関与することが示唆された。これを基に今後の矯正力による歯根吸収抑制の方法やその臨床応用への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は矯正治療における歯根吸収に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			